



くぬぎ学級通信

くぬぎ

令和6年5月29日
No.12
発行責任者：角田 敏文
文責：小河 美智子



活動の様子



○国語：古典文学 ～源氏物語を題材に～

国語の古典の学習の一環として、源氏物語や平安時代の貴族について学習しています。源氏物語を書いた紫式部とはどんな女性だったのか、源氏物語が書かれた理由、千年前の平安時代の貴族の生活など、文献や絵・写真をもとに楽しく学習しています。

源氏物語は日本最古の長編小説で、作者である紫式部が、夫である藤原宣孝が病死した悲しみを紛らわすために書き始めたことや、友人知人に見せていた所、評判を呼び、藤原道長の耳にも届いたことを学びました。

また、平安貴族たちの生活は古いによって細かく定められていて、髪に櫛を入れるのは3日に一度。手のつめは丑の日、足のつめは寅の日に切る、毎日入浴すると短命になると信じられ、約5日に一度のペースでサウナ風呂のような風呂に入る等、現代とは大きく異なる生活様式を知り、みんなびっくりです。

「平安絵巻を描いてみよう」では、平安絵巻に色を塗り、場面毎に再現しています。平安時代の装束や襲（かさね）の色目は、自分の好みよりその季節をいかに表現するかが大切であったことを理解しながら、ていねいに染めています。

